

議会を変えよう！市政を変えよう！

ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース 03年4月号

発行責任 ふじしろ政夫と共に市政を変える会

鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL 047-445-9144 (FAX 兼用)

ホームページ <http://chiba.cool.ne.jp/fuzisiro/> e-mail masao.fujishiro@zc.wakwak.com

よしっ、議会を変えよう！ ふじしろ政夫



市民自治のまち かまがやへの変革

昨年、鎌ヶ谷市の市長・助役が逮捕され、政治とカネの問題が問われ、市長選挙が実施され、清い市政をすすめると公約した「清水きよし」市長が誕生しました。

今回の統一地方選挙では、昨年の「変えよう」という流れを強め、市民自治のまちに変革できるか問われています。利権やしがるみのない市民が主役のまちをつくるためには、市民ニーズに対応した行政サービスの質を高め、情報公開を徹底し、市民・行政・議会が協働し、より「透明性」をすすめ、市民参加の機会を増やすことが求められます。複雑化・高度化・多様化する行政ニーズに的確に対応し、市民活動を活性化することが「市民自治のまち かまがや」の実現につながります。

また、議会は、行政を監視する機能と立法機関としての機能があります。鎌ヶ谷市議会においては、これらの機能が充実していたでしょうか？これらの課題を実現するためには、市民の政策決定過程への参画や、議会の情報公開を一層すすめることなどがが必要です。

ふじしろ政夫は、清水市長の公約実現を後押しし、市民が主役のまちをつくるため、皆さんと共に議会を変えたいと思っています。



議会を変え、市政を変えましょう！



議員もひとりのオンブズマン

ある市民の方が、議会の一般質問の回数を調査したところ、この4年間に一度も質問しない議員が数名いたそうです。

議員になることが目的で、議員としての活動目標や理念がないのでしょうか。

また、選挙になるとこぞって、教育や福祉、環

境の充実を声を大にして叫びますが、選挙が終わると、トーンダウン。何をしているのか、市民にその活動を情報公開する議員はごく少数です。

議員もひとりのオンブズマン ではないかと考えています。議員は、行政を監視し、議会の情報公開をすすめ、市民が政策決定過程に参加できるシステムをつくり、市民の支持を得ることが必要ではないでしょうか。

自らの議会活動を情報公開し、市民にその活動を評価してもらい、議員と市民が協働し、活力あるまち かまがや を目指しましょう！

ふじしろ政夫はその先頭に立ち、皆様と共に頑張る所存です。

ふじしろ政夫の提言

1 市民ひとりひとりが、市政に参画し、自分たちの手で街のあり様・将来の姿を決め、つくる「住民自治のまち」がこれからの鎌ヶ谷市の姿です。これまで以上に情報の公開と共有、市民参加と自己決定のまちづくりの仕組みが必要です。

市の重要事項については、住民投票でその方向を決める「住民投票制度」の整った「かまがやまちづくり基本条例（仮称）」をつくりあげ、人との共生、自然との共生、文字通り市民が主役のまちをつくっていきます。



2 行政モニターの充実、調査公聴システムの整備、各種審議会委員会公募制など市民の意向を行政に反映させる機会を拡充させます。

3 議会を市民に開かれたものとするため、土日・夜間議会の開会、請願陳情制度の改善、参考人・公聴会制度の活用などをすすめます。

4 栗野の森の全面保全、中沢の谷津田の保全、大津川・金山落しの水の浄化を具体的に実施していく中から、全市的に自然を保全再生していく方向性を求めた「自然再生条例（仮称）」へとまとめあげていきます。

5 市民の自立的な社会活動を積極的にすすめるため情報提供を拡充します。

6 こども、お年寄り、障害者が安心して暮らしつづけられるまち「福祉のまち かまがや」をつくるため、市民と行政が協働でパートナーシップを発揮するシステムをつくります

7 十数年来一向に改善されない「下総基地」の騒音問題を、生活環境を守る立場から改善を要求していきます。

8 今年8月25日、住民ひとりひとりに対し、11桁の番号のついたICカード（住基カード）が配布されます。本格稼働する住基ネットの問題点を明らかにし、個人情報保護、個人の尊厳を守る方向で、対応を示していきます。

市民の声

ふじしろさん出番です

泉 一成

昨年、鎌ヶ谷市民を失意に貶めた、政治とカネの問題は、今回統一地方選で改めて問われることとなります。政党の支持基盤を持たない「市民派ふじしろ政夫」さんは、口利き市政を排除し、市民参画をすすめ、「住民自治のまち かまがや」を市民のみなさんと共に考え行動してくれませう。そんな行動的な「ふじしろ政夫」さんに期待しています。

市民ひとりひとりが市政に参画しやすい「住民自治のまち かまがや」を実現するためにも、市民の思いが伝わる議会でなければなりません。

議会を変え、市政を市民が主役へと変えましょう！